

NEWS from FORUM

It's your new weapon



ソフトがすごい！ 本格派ゲーム機 兼用パソコン・RX-78—バンダイ

おもちゃメーカーのパソコン界への参入が相次いでいるが、最大手・バンダイもついにパソコンを発表した。製品名はRX-78。「ガンダム」というニックネームもついている。

価格は、ジョイスティックやBASICのカートリッジは別売、本体のみで5万9800円。本体の仕様などは「'83パソコンオール購入ガイド」のほうに掲載してあるのでよく見てもらうこととして、さて、この機械の最大の特徴は、充実したソフトウェア・カートリッジにある。

本体と同時に発売するのはBASICを含めて、全部で11種類。ヨコの写真をみてもらえばわかるように本体の背面に差し込むようになっているのだが、この9種類のゲームソフトが、さっすが玩具メーカーと感心させられる出来なのだ。

たとえば、本体の愛称と同じ「ガンダム・ルナツーの戦い」というゲーム。内容は敵を攻撃するというありふれたものだが、ガンダムのキャラクターが、細かいところまでよく作られている。



また、「チャレンジ・ゴルフ」など、画面が3次元処理されていて、まるでゴルフトーナメントのテレビ中継を見ているような気分で楽しめる。しかもルールも本物そっくり。さらに、キー



ボード上にオーバーレイと呼ばれるシートをかぶせることによって（左上写真参照）、キーボード上からクラブを換えたり、カップのピンを抜いたり、画面位置を変えたりもできる。他に「チャンピオン・レーサー」、「エキサイト・ベースボール」、「パーフェクト麻雀」など。7月下旬の発売が楽しみだ。

最近、8ビットのパソコン「SC-3000」を発表したセガ・エンタープライゼスが、これに続いてビデオゲームの新製品を発売することになった。



この「SG-1000」はソフトがSC-3000と同規格であり、オプションのキーボード「SGK-1100」を使えばBASICの入門や学習、作曲などを行うこともできる。

いわばSC-3000からパソコン機能を取りはずしたものであり、それだけ価格も安くなっている。特徴は本体に組みこまれたホールドボタンによってゲームを一時的に停止したり、再開さ

せることができること。

ゲームをする人には最適だ。ビデオゲームながら、キーボードに接続できるといっても面白い。ゲームのカートリッジは20種類が用意されている。価格はジョイスティックが1本ついた本体が1万5000円。

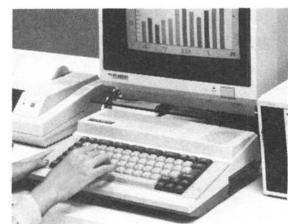
8ビットのゲーム専用機
「SG-1000」
セガ・エンタープライゼス

6001を機能強化しワープロにも！ PC-6001mk II—NEC

発売からおよそ2年、PC-6001が「PC-6001mk II」として遂にモデルチェンジした。発売が遅れ今号の特集ではダイジェストしているが、本欄でも簡単に紹介しよう。

PC-6001mk IIは64K B RAMを標準装備し、従来のN-60 BASICを強化したN-60m BASICを搭載している。もちろん、6001とソフトの互換性及び周辺機器の共通性を持っている。

主な特徴は①漢字ROMを標準装備し1024文字の漢字とひらがなを使い②日本語ワープロとして応用可能③世界で初めてボイスシンセサイザー



を内蔵、任意音声合成LSIにより「話すパソコン」を実現③グラフィック機能を強化しRGB15色表示可能④シンセサイザー機能付き⑤5種類の応用プログラムを添付——等々。ほかにも多くの特色を持った多機能機ながら、価格は6001より5000円安い8万4800円。

▲RGB15色表示可能な「話すパソコン」PC-6001mk II

フルカラーのLSIゲーム・カラースクリーン—任天堂

ドンキーコングJRとえば任天堂が生み出したゲームの世界的傑作であるが、このゲームを10色以上の色彩で表現するLSIゲームの新製品が同社の新製品「カラスクリン・ドンキーコングJR」(7800円)。

特許のメカニズムによって自然光を効率よく取り入れて照明に使用し、画面のキャラクターがカラーで表示される。LSIもハイグレードのものを使っているた



め効果音に楽しいメロディがついている。

時計機能もついているので、ゲームをしないときは単なる置時計として使用することができる。

ゲームの内容は鎖でしばられているドンキーコングを息子のJRが救出するというもので、JRは鍵を手に入れてから、鳥の攻撃を避け、傘や風船につかまりながら進んでいく。

M-5といえば昨年からユーザーの話題を呼んでいる8ビットのパソコンだが、本体に続いて周辺機器が続々と新発売された。

まずプリンタ「PT-5」は感熱方式、ドットマトリックスで印字の音がとても静かだ。インクリボン是不要なので扱いやすい。AC電源を内蔵しており印字速度は約60cps(ANK)。

データレコード「DR-5」は発光ダイオードのランプによってデータの読みこみ状態を監視することができる。リモート端子もついている。

拡張ボックス「EB-5」はカートリッジ用スロット3ポートで大容量のスイッチング電源を内蔵している。また32Kバイトの拡張メモリ「E



▼M-5用拡張ボックス

▲M-5用データレコーダー

▲M-5用プリンタ「M-5」も新登場している。これをEB-5につけるとM-5のメモリ能力は飛躍的に拡大するわけだ。

価格はPT-5が4万9800円、DR-5が1万1800円、EB-5が1万7800円、EM-5は1万2000円。

M-5周辺機器続々登場
ソード